

ブルンジ月報（2020年5月）

主要な出来事

1 内政

- 6日, IWACU ジャーナリスト等4名の判決の延期
- 25日, 大統領選挙の暫定結果発表

2 外政

- 4月30日, コンゴ（民）政府による同国内に滞在するブルンジ兵の撤退要求
- 8日, ブルンジ兵士とルワンダ兵士間の銃撃戦
- 13日, WHO職員4名の国外退去命令

※以下は、明示的に記載したものを除き、ブルンジ・オンライン・メディア IWACU の報道の取りまとめ。

1 内政

（1）IWACU ジャーナリスト等4名の裁判の延期（7日）

6日, 2019年10月に逮捕された IWACU の記者等4名の公聴会がブバンザ（ブルンジ北西部）高等裁判所行われたが, 高等裁判所は, 30日以内に判決を下すとして裁判を延期した。同4名は, 昨年10月22日に治安部隊と軍の間で起きた衝突を取材していたところ, 反政府勢力に加担したとして逮捕され, 1月30日, 2年6か月の懲役及び一人100万ブルンジ・フラン（日本円で約5万7,000円）の罰金が科され, 2月21日に弁護人が控訴していた。

（2）大統領, 下院議員, 地方議会のトリプル選挙投票の実施（20日）

20日, ブルンジ大統領選挙, 下院議員選挙, 地方議会選挙が行われた。大統領選挙には, 与党 CNDD-FDD からンダイシミア候補（Mr. Evariste NDAYISHIMIYE）, 野党からは7名が立候補した。登録有権者数は約500万人で, 国内に約1万5千か所の投票場が設置された。首都及び地方で大きな混乱はなく, 比較的平穏に投票が行われた。

（3）大統領選挙暫定結果の発表（25日）

25日, ブルンジ独立選挙管理委員会（CENI）は, 20日に実施されたブルンジ大統領選挙の暫定結果について, ンダイシミア CNDD-FDD 幹事長が当選したと発表した。全国平均の投票率は87.71%。6月4日に最終結果が発表される予定である。

2 外政

（1）チセケディ・コンゴ（民）大統領のブルンジ反乱軍撤退要求（1日）

4月30日、チセケディ・コンゴ（民）大統領は、ンクルンジザ大統領に対して、コンゴ（民）東部の南キブ県に駐留する Red Tabara を含むブルンジ反乱軍を48時間以内に撤退させるよう求めた。4月末、同地において、Red Tabara とブルンジ軍の間での衝突が報告されていた。

（2）ブルンジ・ルワンダ兵士間の銃撃戦（10日）

8日、ブルンジ北東部でルワンダと国境を接する Rweru 湖にて、ブルンジ軍とルワンダ軍の兵士間にて発砲事件が発生した。ルワンダ国防軍（RDF）の発表によると、同 Rweru 湖のルワンダ側に侵入したブルンジ人漁師に対してRDFが退去を命じたものの、ブルンジ軍兵士がRDFに向けて発砲したため応戦した。同銃撃戦による負傷者はおらず、ブルンジ軍兵士は自国に戻った。

（3）WHO職員4名の国外退去命令（13日）

13日、ブルンジ外務省は、WHOが独自に新型コロナウイルスに係る検査を実施したとして、駐ブルンジWHO所長他3名に対して国外退去を命じた。

（了）